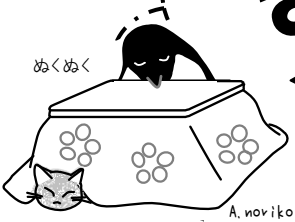


のびすく泉中央 またいたやま



2016年
1月号 Vol.80
平成27年12月20日発行

発行: 仙台市子育てふれあいプラザ
のびすく泉中央

- 住所: 仙台市泉区泉中央1丁目8-6
- TEL: 022-772-7341(ひろば・託児)
- URL: <http://www.nobisuku-izumi.jp/>
- 携帯サイト: <http://www.nobisuku-izumi.jp/mobile/>
- 開館時間: 10:00~17:00(託児室 16:30まで)
- 休館日: 月曜(祝日を除く)、祝日の翌日
- 企画・編集: 一般社団法人マザー・ウイング



2015年、どのような一年でしたでしょうか。2016年も元気に楽しく過ごしましょう♪
今年ものびすくをよろしくお願いたします!

新年のごあいさつ

2015年、のびすく泉中央は新しい出逢いがたくさんあった年でした。今年から開催されたイベントには、転勤族ママや1歳児ママのお友だちづくりのための「ふわら」や、0歳児のママが集まるひろば「シュシュタイム」がありました。同じ境遇のママたちが来てくれて出逢いの場となりました。のびすく泉中央を運営しているマザー・ウイングとの共催事業で、子育てが辛いな、大変だな、というママたちの気持ちを受けとめる「ママのきもちトーク」や「COCOニール」では、ひろばではなかなか話せない気持ちを聴かせてもらうことができました。そして、週末のひろばは、パパやおじいちゃん、おばあちゃんとの出逢いの場。大学生ボランティア、ママボランティア、見守りボランティア、近隣子育て支援施設の皆さん、今年たくさんの方に、のびすく泉中央を手伝っていただきました。本当にありがとうございました。2016年も、たくさんの「出逢い」を楽しみにしつつ…。ママと子ども、それを取り巻く家族の皆さんのお越しをお待ちしております。



パパの土曜寺子屋

土曜の午後、3日に分け6講座を開催しました。イクメンブームといわれ積極的に子育てに関わるパパが多くなってはいますが、初めてパパになった方からは「どう子どもと遊んだらいいかわからない。家事や子育てが大変なママにどうサポートすればいいの?」という声も聞かれます。ママからは、「やってほしいことをやってくれない。パパがやるともう一度やり直し、やらない方がいい。」などという声も聞かれます。そんなパパのためにこの講座を企画しました。

どんなおもちゃを選んだらいいの? パパならではの絵本の読み聞かせは? 子どもの発達を知る等のテーマで皆さん熱心に受講されていました。

ママからも「子どもに絵本を読んでくれるようにりました」などうれしい事後報告もいただきました。
(おやんづ)



学生さんも頑張ってます!

のびすくでは、様々なイベントにボランティアとして宮城学院女子大学臨床発達心理学科の学生さんや白百合女子大学の学生さんが来てくれています。

宮城学院の学生さんは「まめっちょ2・3歳児タイム」で、各ブースを担当し、毎回楽しいアイデアで子どもたちを楽しませてくれています。

また、白百合女子大学の学生さんも「パパとあそぼう!」というイベントを開催してくれています。卒業しても、のびすく泉中央での、子どもたちとの出逢いをずっと忘れることはないでしょう。3月までの残り少ない時間を、のびすくでたくさん思い出をつかってほしいと思っています。

(つっち〜)



ペンギンが行く! ↓

ママにとっても、一番の「ほうび」は笑顔です。ね。

子どもの成長を今だけ、この時期を楽しんで!



お客様の笑顔が一番の喜びです。

お客様のため、自分のため、全力で取り組める仕事は楽しくなる。



「子育てがラクになる」系のアドバイスは

お客様のために24時間、365日働きます。

ブラック企業の理論に似ている。



われわれに必要なのは労働環境の改善だ!

精神論ではなく、五時間は睡眠を

病気のときはやすませろ!!

それができないから、精神論なんですよね。へい、わかっていますよ。



託児室から

託児室に来るお子さんたちの多くが遊んでいくおままごとセット。お子さんの数だけそれぞれの物語が頭の中に広がっていることでしょうか。お料理の様子を見ていると煮物の中にリンゴを入れたりする獨創性や、パイナップルを「パイペッペ」、フライパンを「へライパン」など、うまく言えないこの時期にしか見られない可愛さをのぞかせてくれます。

その一方で、食べ物のがったお皿やコップを「はい、どーぞ!」と元気よくおすそ分けしてもらうたび、「この優しさは忘れられないまま大きくなってね…」と思うのでした。

★一時預かり(生後6ヶ月~就学前)★1時間 600円(1時間以降30分300円) ☎022-772-7341

編集後記

私が子どもの頃の仙台の冬は今よりも寒かったような気がします。霜柱をザクザク、バリバリ踏みながら学校に通ってました。雪遊びもたくさんしました。そり遊びにミニスキー…あ、ミニスキーってわかりますか? (ゆきんこ)

◆作者プロフィール◆
泉区在住、のびすく世代2児のママ。のびすくのママボランティアをきっかけに、2011年より本誌のタイトルイラストを担当している。